

令和8年度
八王子市立陶鎔小学校経営計画

ビジョン

【目指す学校像】

児童にとって「学ぶ喜び」や「居場所」があり、「希望」をつなぎ、「可能性」を広げる学校

【目指す子ども像】

【心を育てる】多様な他者とかかわり、自他を受け止め、しなやかに対応し、前向きな気持ちをもつ子ども

【言葉をつむぐ】対話を通して建設的に根気強く考え、適切に表現する子ども

【体をつくる】自分の可能性を実現する体力を身に付け、健康で安全な生活を送る子ども

【目指す教師像】

専門職としての自覚と誇りをもち、常に相手から学び、チームで課題を解決できる教師

【目指す地域像】

大人としての責任を果たし、子育て支援のネットワークのある、子供の社会性が育まれる安心・安全な地域

3本柱の取組

言葉をつむぐ

中期経営目標（3年間）	短期経営目標（1年間）	具体的方策
各教科等の指導を通して、学習の基盤となる言語能力や情報活用能力を育成する。	児童が言葉や数量・図形などについて豊かにイメージできるようにする。	<ul style="list-style-type: none">●対象児童の状況を把握し、児童の認知や身体に着目して指導の工夫・改善を行う。●音読、暗唱、視写等、能動的な読字や書字を日常的に実施する。●各教科等で多様な表現活動、鑑賞活動を実施する。
	児童がデジタル・アナログの双方を活用する力を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none">●学校図書館や書籍を活用し、「読む・調べる」の学習を充実させる。●児童がデジタル、アナログの双方を活用する場面を設定する。
自立した学習の習慣を身に付ける。	保護者と連携し、児童に家庭学習の習慣を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none">●効果的な家庭学習の課題を工夫して明確な提示をし、家庭学習習慣を定着させる。
教職員の学習指導力を向上させる	各教科等において主体的・対話的で深い学びを実現する。	<ul style="list-style-type: none">●児童が学習の見通しをもったり振り返ったりする活動を充実させる。●校内研究「児童が主体的に学びに向かうための望ましい支援の在り方～児童の実態に応じた、効果的な学習指導を通して～」を継続、発展させる。
	教員の、学習指導の専門性を高める。	<ul style="list-style-type: none">●一部教科での教科担任制、その他交換授業等の実施の推進、算数における習熟度別指導を充実させる。●専任時間講師やALTの活用により専門性の高い学習指導を行う。

心をそだてる

中期経営目標（3年間）	短期経営目標（1年間）	具体的方策
自他を受け止め、困難な状況であっても前向きに対処しようとする態度を涵養する。	児童に学ぶことの充実感・達成感、自他のよさ・成長を感じさせ、自治力と協働する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ●総合的な学習の時間、生活科、特別活動等において、地域、異学年等、多様な他者と協働し、自身の役割を意識する体験活動を推進する。 ●キャリアパスポート等を活用した振り返りの指導を実施する。
落ち着いた学習・生活環境を実現する。	檜原中学校グループ、保護者と連携し、児童に学習・生活規律を身に付けさせ、自立・自律した行動ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ●陶鎔スタイル・TOYO ACTION5+1に基づき、あいさつ、正しい言葉遣い、ルールの遵守について指導を徹底する。 ●檜原中学校グループ、保護者と連携し、一貫した指導を行うとともに、児童自らが学校生活を振り返り、陶鎔スタイルの改善を行う。
配慮を要する児童や家庭への対応を組織的に行い、教員の対応力を向上させる。	不登校、いじめ、教育ニーズのある児童や家庭への対応策を検討・実施し、状況の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●不登校対応、いじめ対策委、校内委員会、児童へのアンケートや聞き取り等を計画的に実施し、児童の状況把握と情報共有を徹底し、ケースに応じた支援を迅速かつ組織的に行う。
特別な配慮を必要とする児童への指導・支援を充実し、困難を軽減する。	学校生活支援シート及び、個別指導計画を保護者と共有し、児童の困難を軽減する。	<ul style="list-style-type: none"> ●校内委員会を計画的に実施し、指導・支援方法を共有する。 ●学校生活支援シート及び、個別指導計画に基づき、指導・支援を実践し、個々の目標を達成させるようにする。 ●障害理解教育、ユニバーサルデザインに立った指導を推進する。

体をつくる

中期経営目標（3年間）	短期経営目標（1年間）	具体的方策
児童の体力向上を向上させ、生活習慣の改善を図るとともに、健康の保持増進を実現する。	東京都統一体力テストの結果を活用し、体力調査を活用した取組を行い、体力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ●体力テストの結果から、学年の重点取組項目を設定し、体育の授業における指導を工夫する。 ●鉄棒、持久走、なわ跳びの取組を推進する。 ●休み時間の外遊びを推進する。
	基本的な生活習慣を身に付け、けがや事故の防止、健康の保持増進に取り組み、自他の生命を守る態度を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ●保健指導、学級活動、体育（保健）等でのけがの防止、病気の予防、心身の安定について指導する。 ●自他の生命を守ることにについて自身を振り返る指導を計画的に行う。 ●各教科等において安全指導を確実に行う。
	食事の重要性を理解し、食文化等についての関心を高めるとともに、食に関する人々への感謝の気持ちや、食事のマナーを大切にしようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ●「日本遺産献立」や「学ぼう！食べよう！世界の料理」など、トピックメニューについての学習を実施する。 ●喫食の時間を十分に確保し、日常の給食の中で「味わう」指導を行う。